



# 南林間小だより

大和市南林間9-3-2

☎ 275-3141



7月号



7月を迎え、梅雨明けが待ち遠しく・・・と、書き出しを考えていましたが、6月27日に梅雨明けが発表されました。梅雨の期間は過去最短だそうです。校庭や地域の方々の庭に咲く紫陽花や、ぬれた葉っぱの陰から顔を出す緑色のカエルやカタツムリ、雨の合間の青空にかかる虹など、梅雨を感じる間もなく、6月とは思えない暑い日がやってきました。



今年の夏は、水不足や猛暑と言われていますが、その他にも私たちの安全や健康に関わる問題として、急な雨風も心配されます。学校では激しい雨風の場合など、児童を留め置いたり、早めに下校させたりすることがあります。それ以外にも、気温などの状況に応じて、体育などの活動を制限したり、熱中症など身体へのリスクを考慮して、体育や登下校時には、マスクの着用は必要ないことを、一人ひとりの気持ちに丁寧によりそいながら、指導したりしているところです。

ご家庭でも、緊急時の約束や、体の安全についてお子様と話し合っただけだと幸いです。



先日、地域の方から笹をプレゼントしていただきました。中国から伝わったと言われる「織姫と彦星」のお話で有名な七夕を、7月7日に迎えます。子どもたちは、思い思いの飾りつけとともに、願い事を短冊にしたためています。「〇〇が欲しい」という現実的なものや「〇〇でありますように」というものなど、子どもたちの素直な気持ちが表れています。

子どもたちの願いがかなうよう、笑顔いっぱい、安心して楽しく過ごせる学校づくりに努めてまいります。

(校長 板坂 和明)

先日の小中合同防災訓練へのご協力ありがとうございました。新型コロナウイルス対策により2年間実施していませんでしたが、東階段から上がり、西階段から下りるようにするなど、スムーズに引き渡しができるようにしました。特に大きな混乱がなかったこと、とても感謝しております。中でも、子どもたちがしっかりこのルールを覚え、保護者などに声をかけていたのに驚きました。非常時には、一人ひとりが安全を心掛け行動することが大切になります。このように、子どもたちがルールを考えて行動していたことは、とても頼もしく感じました。

日本は地震が多い国と言われています。ただ、いつ起こるか正確に予測することはできません。もし、住んでいる町で大地震などの災害が起きた時「家族で集まる場所を決めておく。」「持ち出すものを準備しておく。」等、ご家族で話し合っただけではいかがでしょうか。非常時の行動を想像することは、一種の防災訓練となります。学校でも訓練などの機会を大切にしながら、子どもたちに考えさせていきたいと思っております。

(教頭 大谷 幸司)